

令和4年 第2回定例会

個人質問

2022年6月15日



QRコードから議会の映像が見れます ▲



*魅力ある学校園づくりについて

問 (1) 松原市が掲げる特色ある教育についてお聞かせください。

答 平成27年度から取り組んできたインターナショナルセーフスクールは、令和3年度に市内全校が国際認証を受けることが出来ました。令和4年度からは地域の力を学校運営に最大限生かしていくためのコミュニティスクールを中学校区単位で本格的に始めることに伴い、より効果的・効率的に進めていきたいと考えております。



問 (2) 多様な支援人材を生かした組織的な生徒指導の充実についてどのように進めているのか、お考えをお聞かせください。

答 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど心理・福祉分野の専門人材の積極的な活用により生徒指導体制を充実し、幼児児童生徒の安心・安全な学校園生活と教職員の負担軽減の両立が図れるような取り組みや、学校にネイティブスピーカーのALTを計画的に配置するためのJETプログラムを導入し、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上に努めているところです。

問 施設一体型も踏まえた小中一貫の教育について、市としてのお考えを聞かせてください。

答 魅力ある学校園づくりについての一方策であると考えております。今後の人口の推移や、本市の発展の状況等も見極めながら、子どもたちのための教育との観点から、研究してまいりたいと考えております。

問 児童の登下校の安全確保について、市としてどのようにお考えなのかお聞かせください。

答 登下校の安全確保については、学校管理者、PTA、警察、道路管理者、教育委員会等で通学路の合同点検を行い路面標示や安全防止柵の設置など危険箇所の補修などを実施しております。また、「子ども安全見守り隊」により児童の安心・安全な登下校を見守っていただいている際、登下校の危険箇所等に関するご意見もいただいております。



その都度関係部署や警察等と連携し、改善方法などについて協議を行い、協議の内容が伝わっていないのご指摘についても、今後、連携を密に取りながら事前協議の内容もお伝えするよう努めてまいります。

問 見守り活動に伴う現状と課題について、どのようにお考えなのかお聞かせください。

答 各小学校区で地域の自治会や老人会、PTAなどを中心に結成されています。「通学する子どもたちの笑顔を見られることが喜びだ」と活動に参加していただいておりますが、構成メンバーには高齢者が多く、今後もスムーズな世代交代が求められています。引き続き、地域の自治会や老人会、PTAなど様々な団体の方と連携し、5年後、10年後の見守り活動の在り方も検討しながら一人でも多くの方に参加していただけるよう、啓発に努めてまいります。

*幼児の弱視について

問 松原市としての健診内容についてお聞かせください。

答 3歳6か月健診受診日のご案内の際に、家庭でしていただく視力のスクリーニング検査のアンケートを同封しており、ご家庭で視力のアンケート検査を実施していただきます。健診当日、ご家庭で実施したスクリーニング検査の確認と合わせて、専用の機器を使って屈折異常等を調べる検査を実施しています。精密検査を必要とする子どもには、紹介状を発行して、眼科の受診を勧奨しております。



問 公明党 石川参議院議員が予算委員会の中で、屈折異常等を調べる検査機器(スポットビジョンスクリーナー)の助成を訴え、令和4年4月から地方自治体が購入する1/2を助成する制度が進んでいます。松原市はどのように制度を利用されるのかお聞かせください。

答 国の制度を活用できるよう現在確認をしております。速やかに実施できるよう努めてまいります。

*賑わいの街づくりについて

問 賑わいのある街は、産業・イベント・観光の要素が必要と考えられるが、今まで行ってきた取り組みや、今後、新たな取り組みを考えているのであればお聞かせ下さい。



答 市内の企業事業者に対し、企業誘致や企業立地促進事業の制度により、固定資産税の負担軽減や奨励金制度を活用した取り組みを実施させていただき、商工会議所との連携で、中小企業が抱える問題課題に対する相談窓口の強化にも努めてまいりました。令和4年度につきましては、プレミアム付商品券事業を今年度も実施し、消費喚起による販売促進につなげていきたいと考えており、今回のマルシェにつきましても松原産や大阪産の食材にこだわった取り組みを行い、参加者の方にもマイバック・マイお箸といったSDGsの気運を高め、新たな取り組みにチャレンジをしていきたいと考えております。

観光については、平成30年度に観光協会を設立し、着地型観光体験プログラム「まつばら よろし おあがり旅」を実施していくことで、本市の魅力を知っていただく機会として、毎年実施してまいりました。また、昨年開業したセブンパーク天美と連携することで、その集客力と最新設備を最大限に活用し、市民の皆様や来訪者に対し、シネマ広告やデジタルサイネージをはじめとした視覚効果の高い情報発信を行ってまいります。



【西名阪高架下の清掃に参加】



ボランティア団体WOBCの皆さんと西名阪高架下の清掃を続けて5年、昨年ボランティア活動の功績を称えられ、令和3年11月3日に感謝状をいただきました。私も一員として、街の美化活動に頑張っていきます。

【見守り活動】



天美北小学校見守り活動を続けて8年、青色防犯パトロールとあわせて子どもの見守り活動をさせていただいております。未来の子どもたちの成長を、これからも守り続けてまいります。

プロフィール

河内 徹

昭和37年3月19日生まれ 60歳

- ※松原市議会議員(3期)公明党松原支部 副支部長
- ※市監査委員
- ※福祉文教委員長
- ※決算特別委員長
- ※地方創生特別委員会 副委員長
- ※副議長
- ※天美荘園親睦会 西町会 会長

